

① 学会・研修会・講習会等の名称：

脳画像のリハビリテーションへの活用 ～画像から考える臨床症状とアプローチ～名古屋会場～

② 日 時：2020年4月19日（日）10:00～16:00（受付9:30～）

③ 内 容：

【講義概要】

中枢神経疾患においては、運動障害が観察される上肢や下肢に直接的な損傷があるわけではありません。

しかし、実際の臨床では運動学的所見の評価が中心になることが多く、損傷した脳そのものに眼を向けて治療プログラムを立案する事は多くない印象があります。

損傷した脳そのものを評価の対象に含める事、すなわち、脳画像情報を評価に取り入れる事とは、機能・能力的側面から得た情報を、脳機能を含めて解釈する事に他なりません。

リハビリテーションにおいて脳画像を活用する意義は、評価の精度を高め、治療的介入をよりの確なものとする事にあります。

このセミナーは、前編となる『脳画像を理解するための脳の機能解剖と脳画像の基礎知識』で学んだ大脳の皮質の解剖の知識を基礎とし、それらを連絡する白質の走行と、白質の損傷によって出現することが予想される障害及び症候を把握します。

具体的には、運動麻痺や感覚障害の出現が把握できるようトレーニングし、その上で、高次脳機能障害と神経白質損傷の関係性について学びます。

また、栄養血管について学びます。脳の栄養血管の走行と支配領域を学ぶことで脳梗塞の症状の把握がより具体的なものとなります。

さらに、複数例の画像所見から脳画像を活用するトレーニングを行い、実際の臨床での活用事例を紹介します。

本セミナーは、前編『脳画像を理解するための脳の機能解剖と脳画像の基礎知識～脳画像を理解するために習得すべきこと～』の知識が習得されていることを前提とした内容になることにご留意ください。

④ 講 師：阿部 浩明 先生

（一般財団法人広南会 広南病院 リハビリテーション科総括主任・理学療法士）

⑤ 会 場：名古屋国際会議場 1号館 4階 会議室 141+142

⑥ 受講費：12,800円（税込）

⑦ 定 員：80名

⑧ 申込先：[株式会社 gene ホームページ](#)よりお願い致します。

⑨ 締 切：定員になり次第締め切り

⑩ 主 催：株式会社 gene